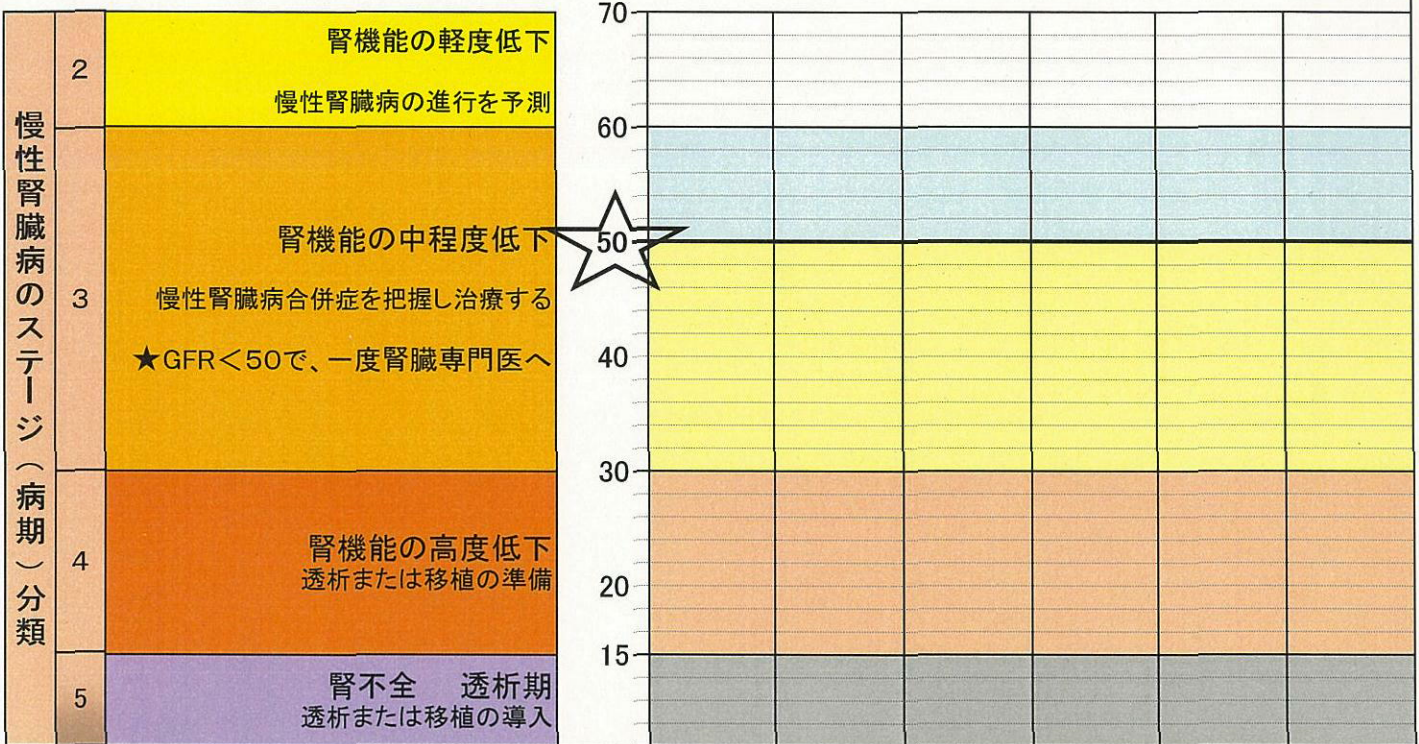


腎機能、その他の検査値のコントロール状態の判断基準

GFR(糸球体ろ過量)は、慢性腎臓病を判断し、腎障害の進行の予測を可能にします

慢性腎臓病(CKD)の定義 〈 1または2 のどちらかを満たす場合 〉	
1. 腎臓の障害が3カ月以上持続する 尿異常、画像診断、血液、病理で腎臓の障害が明らかな場合	—特に たん白尿 が重要—
2. GFR(糸球体ろ過量) 60ml/分/1.73m²未満が3カ月以上持続する	

この項目から GFRを推算 (改訂MDRD簡易式)	検査日	年	年	年	年	年	年
	男・女 年齢	月	月	月	月	月	月
	血清クレアチニン値(mg/dl)	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	GFR(ml/分/1.73m ²)						



腎障害 危険因子	尿蛋白(微量アルブミン尿)							
	収縮期圧	130mmHg未満						
<input type="checkbox"/> 高齢(70歳以上)	拡張期圧	80mmHg未満						
<input type="checkbox"/> 生活習慣病の治療	血糖値	110mg/dl未満						
<input type="checkbox"/> 腎臓病の家族歴	HbA1c	5.5%未満						
<input type="checkbox"/> 腎臓病の既往	BMI	25未満						
<input type="checkbox"/> 尿路系疾患の既往	腹囲	男85・女90未満						
<input type="checkbox"/> 妊娠高血圧症候群	尿酸	7.0mg/dl未満						
<input type="checkbox"/> 低体重での出生	中性脂肪	150mg/dl未満						
<input type="checkbox"/> 膠原病、全身性感染	HDL	40mg/dl以上						
<input type="checkbox"/> 検診での尿異常	LDLコレステロール	120/dl未満						
<input type="checkbox"/> 喫煙								